

小学校家庭科副読本 食べてみよう! 調べてみよう! おみそ

夏休みの
課題に!

第33回 作文・新聞コンクール おみそ作文応募要綱

おみそについて作文を書こう!!
中面の原稿用紙で応募してね!!

テーマの例

みそ料理をつくったときの体験

みそ工場見学で感じたこと

「みそ」についての思い出

「みそ」について調べたこと

副読本を読んで感じたこと



入賞賞品（作文）

入賞者には、賞状と副賞がおくられます。

- 文部科学大臣賞 1名
………図書カード 1万円
- 最優秀賞 4名…図書カード 5千円
- 優秀賞 5名…図書カード 3千円
- 佳作 10名…図書カード 2千円
- 参加賞………応募児童全員に文房具
- 応募校(3作品以上)…図書カード 1千円
(50作品以上の応募の場合 図書カード 5千円)

主催／みそ健康づくり委員会 後援／文部科学省(申請中)・教育新聞 協力／全教図

審査員より

みそは日本の伝統的な食品であり、全国の各地域では、特徴のあるさまざまなみそが作られている。祖母が作るみそ料理の良さにふれた作品など、地域や家族とのつながりを感じさせる作品が目立った。

出が詰まっています。みそは幸せの味です。

こう考えると、みそには、祖母、父、母そして私の思い出が詰まっています。みそは幸せの味です。

また副読本のみその作り方を読んで、幼稚園の頃を思い出しました。私は、年中まで青森県に住んでいました。その園では、皆で野菜を育てたり、大豆を育てて収穫した大豆からみそ作りもしました。自分で作ったみそは自分の手のいい菌が入って自分の腸にいいんだと教えてもらいました。幼稚園の給食は、そのみそで作ったみそ汁が出てきました。おいしくていつもおかわりしていたことを思い出しました。参観日には、みそ玉の作り方を教えてもらって父と母も「こんなに手軽にできるなんていいね。」と我が家では今も朝ご飯の時に、みそ玉で作ったみそ汁が登場します。

もう一人の東北出身の祖母のみそ料理はみそおにぎりで、おにぎりのまわりにみそがたっぷりぬってあるシンプルなおにぎりですが温かいほかほかごはんのおかげで、みそのいい香りが口と鼻いっぱい広がります。中には私の好きな梅干しや鮭、かつお節などが入っていて何がでてくるか楽しみです。母も子どもの頃良く食べていたそうで、食べる元気が出るそうです。

まずは祖母のみそ料理です。

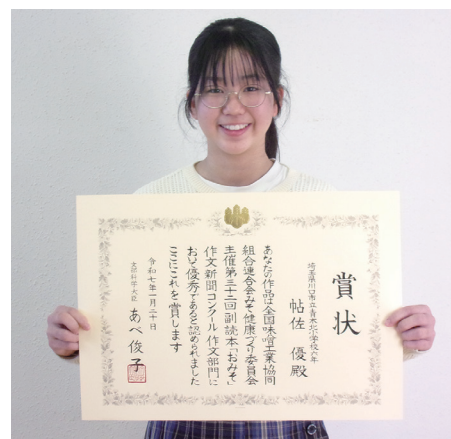
関西にいる祖母は、夏休みに遊びに行った時おみそ汁を作ってくれました。かつお節とこんぶで出汁を取り、具は豚バラ、ごぼう、豆腐、人参、ねぎなど具だくさんでとてもおいしかったです。父は、「懐かしいなあ。」と言いつつ皆で「おいしいね。」と言って食べました。それから母にリクエストをして我が家でも作ってもらっています。おいしいご飯に具だくさんのおみそ汁とぬか漬。これがあれば最高のごはんです。

2024 年度「おみそ」
作文コンクール最優秀作品

文部科学大臣賞

みそは幸せの味

埼玉県川口市立青木北小学校
帖佐 優さん



応募のきまり

作文はダウンロードした「作文用紙」または400字づめ原稿用紙2枚くらいに書いてください。原稿用紙はホッチキスやのりでとめないでください。学校名、学年、名前(ふりがなをつける)を1枚ごとに書いてください。1枚めに必ず題名を書いてください。

●しめきり 令和7年10月20日(消印有効) ●入賞発表 令和8年1月下旬「教育新聞」

※応募された作品は、返却できません。必要な場合はあらかじめコピーをとってから、応募してください。

※これまでの受賞作品は、みそ健康づくり委員会のホームページで見られます。 <https://miso.or.jp>

【作品の送り先】〒170-0012 東京都豊島区上池袋1-38-2 (株)全教図「おみそ副読本」係 電話03-5974-6121

▽作文用紙をダウンロードしてご応募ください。